

シラバス

指定番号

商号又は名称：公益社団法人 大阪市ひとり親家庭福祉連合会

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	①共感、受容、傾聴的態度、気づきなど、基本的なコミュニケーション上のポイントについて理解できている。 ②家族が抱きやすい心理や葛藤の存在と介護における相談援助技術の重要性を理解し、介護職としてもつべき視点を理解できている。 ③言動、視覚、聴覚障害者とのコミュニケーション上の留意点を理解できる。 ④記録の機能を理解し重要なポイントを説明できる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護におけるコミュニケーション	3	3		(1)介護におけるコミュニケーションの技法 ・生活場面におけるコミュニケーション・対人援助のコミュニケーション (2)利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ・利用者の心理とコミュニケーション・家族とのコミュニケーション (3)利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際 ・言語、視覚、聴覚障害者とのコミュニケーション ・失語症、構音障害者とのコミュニケーション ・認知症の人とのコミュニケーション 演習実施 演習手法：「生活場面におけるコミュニケーションや対人援助のコミュニケーション」について、班体制を用いてロールプレイングを行う。
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3	3		(1)チームアプローチ -多職種連携- ・チームアプローチとチーム連携・チームアプローチの形態 (2)観察、記録、情報伝達 ・介護職と記録・報告、連絡、相談 (3)コミュニケーションをうながす環境 ・共感的理解とコミュニケーション・言葉遣いと話し方 演習実施 演習手法：「言葉遣いと話し方」について、隣同士でロールプレイングを行う。
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。